



News Letter

順天堂大学女性研究者支援室

第 3 号

2012年9月10日発行

編集・発行

順天堂大学女性研究者支援室

〒113-8421

東京都文京区本郷 2-1-1

センチュリータワー南 1 2 階

☎03-5802-1009

Email:j-danjyo@juntendo.ac.jp

女性研究者支援室ホームページ

http://www.juntendo.ac.jp/jyosei/index.html

活動報告 (研究支援者の声)

女性研究者支援事業が「研究時間の確保が困難な妊娠・出産・育児中の女性研究者にとって、どのように活用されているのか、平成23年度より支援を行っている支援者の岡本直子さんに、実際に女性研究者支援事業を利用していただきご意見ご感想等のアンケートにお答えいただきました。

支援者：岡本直子さん

現在支援している先生：耳鼻咽喉科・松岡先生 小児科・細澤先生

主な支援内容について教えてください

耳鼻咽喉科では「胎児聴力検査確立」の研究支援をしています。現在、測定の条件検討をしている段階で、先生が臨床にて測定したデータをまとめ、グラフ化するお手伝いをしています。これにより次の検討課題を見つける手助けをしています。小児科では「発達検査」などの研究支援をしています。臨床の視線計測実験のセッティング・補助と、今まで行なってきた発達検査のデータ(数値化したもの)の入力です。今後、研究データ解析への一助となれば良いと思います。

支援してみて感じたことは何ですか

私も研究に携わり、子育ての経験もあることから、研究との両立の苦勞・悩みは良く分かります。職場では仕事・研究に関する相談は出来ても、子育ての悩みは同世代の母親同士のつながりの無い状況ではなかなか相談する事も出来ず、苦しむ事もあるかと思えます。研究支援も必要ですが、家事の悩みなど精神的なケアも必要だと感じる事もあります。そのような時に、誰かに話したり相談する事が出来るだけでも精神的に楽になり、更なる活力に繋げて頂けたらと思います。

女性研究者支援事業についてのご意見ご希望をお聞かせください

女性が子育てしながら研究を続けるのはとても大変なことです。かと言って、子育て後の職場復帰が難しい現状では、やはり仕事・研究を継続しながら育児をしなければならないのが現状です。貴重な人材である女性研究者の社会貢献・進出の為に、女性研究者支援事業を継続し、更に拡充させる事が大切かつ必須であると思います。



ハイライト

- 研究支援者インタビュー
- シンポジウム開催のお知らせ

■ 支援実施体制



お知らせ：シンポジウムの開催

日時：平成 24 年 12 月 22 日 (土) 14 時～(※詳細は未定)

開 場：順天堂大学 10 号館 1 階 カンファレンスルーム

テーマ：女性外科系医師・研究者からのメッセージ
～次世代女性研究医への期待～ (仮題)

演 者：山村康子プログラムオフィサー (JST)

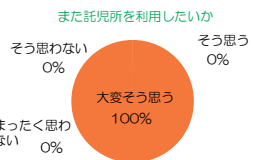
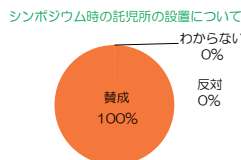
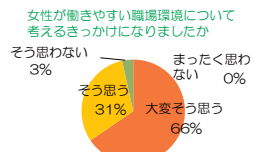
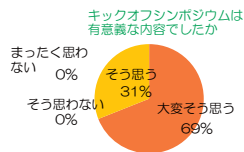
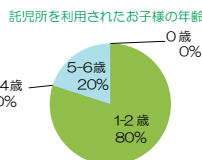
齋藤光江教授 (本学 乳腺内分泌外科学)

加藤聖子教授 (九州大学 産婦人科学)

加藤庸子教授 (藤田保健衛生大学 脳神経外科学)

■ シンポジウムアンケート

平成24年3月のキックオフシンポジウム終了後、来場者、託児所利用者に実施したアンケートの結果の一部をご紹介します



相談室について

研究のこと、家庭のこと困ったことがあれば、一人で悩まず何でも相談してください。女性研究者支援室から相談員がお話をお伺いいたします。(個人情報取り扱いについては徹底いたします)

連絡先: sankaku@juntendo.ac.jp

担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

搾乳室について

男女共同参画推進室では健康管理室の支援を頂き、搾乳室の運用が行えることとなりました。事前登録制となっておりますので、希望者は男女共同参画推進室ホームページから申し込みをお願いいたします。

http://www.juntendo.ac.jp/kyodossupport01.html

担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤

ベビーシッター育児支援制度のご案内

仕事と子育ての両立を支援する「ベビーシッター育児支援制度」を導入しています。ベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金(1日につき1700円以上のサービスに限る)から1700円の割引が受けられます。子育て中の教職員の方はどうぞご利用ください。

詳細は以下のHPを参照して下さい。

http://www.juntendo.ac.jp/kyodoss/baby_sitter.html

担当: 男女共同参画推進室 梅木・佐藤